



エンタープライズパラメータの設定

Cisco Unity Connection のエンタープライズパラメータは、Cisco Unified Serviceability のすべてのサービスに適用されるデフォルト設定を提供します。

エンタープライズパラメータは追加および削除することはできませんが、次の手順に従って、既存のエンタープライズパラメータを更新することができます。



(注)

エンタープライズパラメータの多くは、変更の必要がほとんどありません。エンタープライズパラメータは、変更しようとする機能について完全に理解している場合、または Cisco Technical Assistance Center (Cisco TAC) が変更内容を指定した場合を除いて変更しないでください。

次の各項を参照してください。

- [Cisco Unified Serviceability のサービスのエンタープライズパラメータの設定 \(P.30-2\)](#)
- [エンタープライズパラメータの詳細 \(P.30-3\)](#)

Cisco Unified Serviceability のサービスのエンタープライズパラメータの設定

Cisco Unified Serviceability のサービスのエンタープライズパラメータを設定するには、次の手順を実行します。

Cisco Unified Serviceability のサービスのエンタープライズパラメータを設定する

ステップ 1 Cisco Unity Connection の管理で、[システム設定 (System Settings)] を展開し、[エンタープライズパラメータ (Enterprise Parameters)] をクリックします。

ステップ 2 [エンタープライズパラメータ (Enterprise Parameters)] ページで、必要な設定を入力します。サービスのすべてのサービスパラメータをデフォルト値に設定するには、[デフォルトに設定 (Set to Default)] ボタンをクリックします。

エンタープライズパラメータのリストおよび説明を表示するには、ページの右側にある ? ボタンをクリックします。特定のパラメータを一番上にしてリストを表示するには、そのパラメータの名前をクリックします。

ステップ 3 [保存 (Save)] をクリックします。

エンタープライズパラメータの詳細

表 30-1 に、Connection のエンタープライズパラメータの詳細を示します。

表 30-1 エンタープライズパラメータの詳細

エンタープライズパラメータ	説明
Max Number of Device Level Trace	<p>Cisco Unified Serviceability の [Trace Configuration] でデバイス名に基づくトレースを選択した場合に、同時にトレースできるデバイス数を指定します。</p> <p>これは必須フィールドです。</p> <p>デフォルト : 12</p> <p>最小値 : 0</p> <p>最大値 : 256</p>
Allowed Performance Queries per Minute	<p>システムで許容される AVVID XML Layer (AXL) パフォーマンスカウンタクエリーの 1 分あたりの最大数を指定します。アプリケーションの送信するクエリー数が、このパラメータで設定された制限値を超えた場合、Voice Health Monitoring や Gateway Statistic Utility (GSU) などのクライアントで応答が遅くなります。</p> <p>これは必須フィールドです。</p> <p>デフォルト : 50</p> <p>最小値 : 1</p> <p>最大値 : 80</p>
Allowed Device Queries per Minute	<p>システムで許容される AVVID XML Layer (AXL) デバイスクエリーの 1 分あたりの最大数を指定します。アプリケーションの送信するクエリー数が、このパラメータで設定された制限値を超えた場合、Voice Health Monitoring や Gateway Statistic Utility (GSU) などのクライアントで応答が遅くなります。</p> <p>これは必須フィールドです。</p> <p>デフォルト : 15</p> <p>最小値 : 1</p> <p>最大値 : 18</p>
Performance Queue Limit	<p>パフォーマンスカウンタクエリーを処理するキューのサイズを制御します。キューのサイズがこの制限値を超えた場合、パフォーマンス要求はドロップされ、クライアントにタイムアウトメッセージが送信されます。</p> <p>これは必須フィールドです。</p> <p>デフォルト : 100</p> <p>最小値 : 20</p> <p>最大値 : 1000</p>

表 30-1 エンタープライズ パラメータの詳細 (続き)

エンタープライズ パラメータ	説明
Maximum Performance Counters per Session	<p>セッションベースの要求で許容されるパフォーマンス カウンタの最大数を指定します。</p> <p>これは必須フィールドです。</p> <p>デフォルト : 100</p> <p>最小値 : 20</p> <p>最大値 : 1000</p>
Allowed CDRonDemand get_file Queries per Minute	<p>システムで許容される CDRonDemand get_file クエリーの 1 分あたりの最大数を指定します。</p> <p>これは必須フィールドです。</p> <p>デフォルト : 10</p> <p>最小値 : 1</p> <p>最大値 : 20</p>
Allowed CDRonDemand get_file_list Queries per Minute	<p>システムで許容される CDRonDemand get_file_list クエリーの 1 分あたりの最大数を指定します。</p> <p>これは必須フィールドです。</p> <p>デフォルト : 20</p> <p>最小値 : 1</p> <p>最大値 : 40</p>
File Close Thread Flag	<p>トレース ファイルを閉じるための個別スレッドの使用を有効にします。有効にすると、トレース ファイルの末尾でのシステムのパフォーマンスが向上する場合があります。</p> <p>これは必須フィールドです。</p> <p>デフォルト : True</p>
FileCloseThreadQueueWaterMark	<p>最高水準点を定義します。この水準点に達すると、トレース ファイルを閉じるために使用される個別スレッドが、閉じるトレース ファイルの受け入れを停止します。トレース ファイルは、個別スレッドを使用せずに閉じられるようになります。</p> <p>これは必須フィールドです。</p> <p>デフォルト : 100</p> <p>最小値 : 0</p> <p>最大値 : 500</p>
Service Manager TCP Server Communication Port Number	<p>Service Manager がリスンする TCP ポート番号を指定します。</p> <p>これは必須フィールドです。</p> <p>デフォルト : 8888</p> <p>最小値 : 1024</p> <p>最大値 : 65535</p>

表 30-1 エンタープライズパラメータの詳細 (続き)

エンタープライズパラメータ	説明
Service Manager TCP Client Communication Port Number	Service Manager が応答する TCP ポート番号を指定します。 これは必須フィールドです。 デフォルト : 8889 最小値 : 1024 最大値 : 65535
Denial-of-Service Protection Flag	特定の DoS 攻撃 (サービス拒絶攻撃) を防止するための保護を有効にします。 これは必須フィールドです。 デフォルト : True
Cisco Support Use 1	Cisco TAC でのみ使用されます。 最大長 : 10

